

中学校に入学を勧むる文

君に拝啓時下日増春陽の候に相成り候處貴
勉學罷在候間乍憚御休心被下度候無異
陳者貴君には今度高等壺學年御修業の事
と存居候ひしが申迄も無之候へども今後
の社會は小學教育のみにては不足にて加
之生存競爭日々に劇烈と相成る儀となれ
ば少くとも中等教育を受くる必要可有
之と愚考仕り候貴志如何に候や若し愚考
御賛成遊ばされ候は幸ひ今當に縣下各
中學校にては生徒募集の中に候へば早速入
學願書差し出さる様御勧め申上候尚入
學手續等は小生手許にあるもの壺部封入
差上候につきは御覽被成下度の候如くに
先づは右入學御勧めまでの斯の如く頓首
候

高一 高橋理一郎